



市長挨拶

新しい年の始まりに寄せて

謹んで新年のご挨拶を申し上げます。

昨年は、新型コロナウイルスの流行により、感染への不安を抱えつつ、家族や大切な人の身を案じながら、毎日をお過ごしになられたことと思います。

このようななか、感染症により影響を受けられた方々には心よりお見舞いを申し上げますとともに、医療従事者をはじめ、感染拡大防止にご尽力されております関係者の皆さまに改めて敬意を表し、深く感謝を申し上げます。

市といたしましては、今後も感染拡大状況に応じた適切な対策を迅速に講じてまいりますので、引き続きご理解とご協力をお願いいたします。

さて、昨年本市は、市制施行80周年の節目を迎え、さらなる飛躍に向けて新たな一歩を踏み出しました。市民会館が「クラフトシビックホール土浦」としてリニューアルオープンしたほか、老朽化した学校給食センターを統合して新給食センターが完成するなど、未来を見据えた施設の整備も順調に進展いたしました。

また、自転車のまちづくりの推進につきまして、J R土浦駅ビル内の「りんりんスクエア土浦」や土浦港近くの「りんりんポート土浦」に加え、3月には土浦駅直結のホテル「星野リゾート BEB5土浦」が開業し、さまざまなニーズに対応可能な自転車環境が整備されてまいりました。「つくば霞ヶ浦りんりんロード」の結節点に位置する本市の特徴を生かし、これらの施設と本市の地域資源を有機的に連携させることにより、サ

イクリングを軸とした交流人口の拡大と地域の活性化が一層伸展していくものと期待しているところです。

このようななか、本年は、本市のさらなる発展に向けて、新しいまちづくりの指針となる第9次総合計画を策定し、市民の皆さまが土浦市の将来に希望を持っていただけるよう、中長期的な視点に立って、未来志向のまちづくりを進めてまいります。

また、土浦北インターチェンジ周辺地区の土地利用促進や、スマートインターチェンジの設置可能性の検討など、地域経済や産業の活性化に寄与する各種事業を推進するとともに、小中学校におけるICTの活用促進など、教育環境の充実に努めます。さらに、子ども・子育て支援施策のさらなる充実と総合的な相談支援体制の構築、そして高齢者や障害のある方にも優しい地域づくりに取り組んでまいります。

今後も地域の特性をふまえた施策を積極的に展開し、市民の誰もが郷土に誇りを持ち、生きがいを感じられる「夢のある、元気のある土浦」の実現に向け、全力で市政に邁進してまいりますので、皆さまには引き続き、ご支援とご協力をお願い申し上げます。

結びに、新型コロナウイルス感染症が早期に収束しますこと、そして、市民の皆さまにとって本年が、健康で幸せな年になりますことを心からご祈念申し上げます、新年のご挨拶といたします。

土浦市長 安藤真理子